

企業概要

- 風力発電、鉱山機械、エレベーター等に使用される回転電機（モーター、発電機、補機類）全般の製造・修理に加え、特殊高機能製品の開発・製造、軽水力発電機「Cappa+++」「Kingyo」をはじめとする自然エネルギー商品の製造・販売
- 戦後まもなく、戦火で壊れた変圧器を修理し人々に電気を届ける事業を興して創業
- 茨城県内5つの事業所における各種設備と長年蓄積された技術ノウハウにより、高品質・多品種・短納期といった案件に柔軟に対応

企業情報

企業名	株式会社茨城製作所
代表者	菊池 伯夫氏（理学博士）
設立年	1967年（創業1946年）
資本金	3,000万円
従業員	100人（18-83歳）
本社所在地	茨城県日立市神峰町4丁目7番10号
事業概要	電気機器製造
電話番号	0294-21-5135



代表取締役社長 菊池 氏
(茨城製作所 HPより)

SDGs達成を通じた取組

【経緯・背景等】

かつて社長自身がインド・バンガロールで2年間過ごし、頻発する停電による電気・水不足による不便さを肌身で感じるとともに、同国民13億人の約1/4がエネルギーアクセスのない生活をしている実態を目の当たりにした。のちに自国で起きた3.11東日本大震災では同社も被災、停電・断水が続く中、僅かな明かりとスマートフォンで得られる情報により人の安心感には大幅に増進されること、暮らしに最低限必要なエネルギーは意外と小さいことを実感した。これらの原体験をもとに、自社の持つ技術を活用し、社会の課題を解決するビジネスを推進することを決意。

【具体的な取組、製品・サービス】

- 風力発電機用スリップリング、従来型化石燃料よりも炭素強度が低いLNG・シェールガス等の油田での採掘・掘削用、パイプライン送油用モーター、特殊ハイブリッド車輛用の発電機・駆動モーター等を製造。
- 「Cappa+++」、「kingyo」（3Dプリンタを活用して低コスト製造に成功）といった自然エネルギーを生かした軽水力発電機を開発・製造。
- ネパールの電力不足・無電化地帯でガラス窓がない土壁の学校に電気による明かりを提供したり、慣習的に奨励されていない女兒就学促進や女性グループの夜間学習のため、学校でランタンの充電を行う仕組みを提供。

【取り組んだ成果・効果】

- 風力発電機用スリップリングでは1.85MWクラス陸上風力発電市場で世界トップクラスの市場シェア。
- 2015年ネパール地震ではJICA事業によってCappa+++を同国へ支援提供。クラウドファンディングでの支援募集の結果、219名からの総額800万円を超える支援金を集めるに至る。
- 子供たちが電気のある生活によって学習環境にアクセスしやすくなった。



Cappa+++
(同社HPより)

【貴社にとってのSDGsと、その展望】 SDGsとは、ibaseiのミッション「創業以来の誠心と今日まで培ってきた技術を磨き上げ、高品質の製品及びサービスを提供することで、社会インフラ基幹製品に携わる企業としての社会的責任を果たし、広く社会に貢献すること」・「自然エネルギー及び省エネルギー事業を通じ、維持可能な社会の実現に向け貢献を果たすこと」を実現するために推進している、アースミルクPJ及び社会問題解決型ビジネス（B2S: Business to Society）の一環です。今後はネパールのみならず、インドにも明かりを灯し、環境・水中センサーを搭載したCappaシステムでデータを蓄積しながらIoTを駆使、水害予測での活用を構想しています。